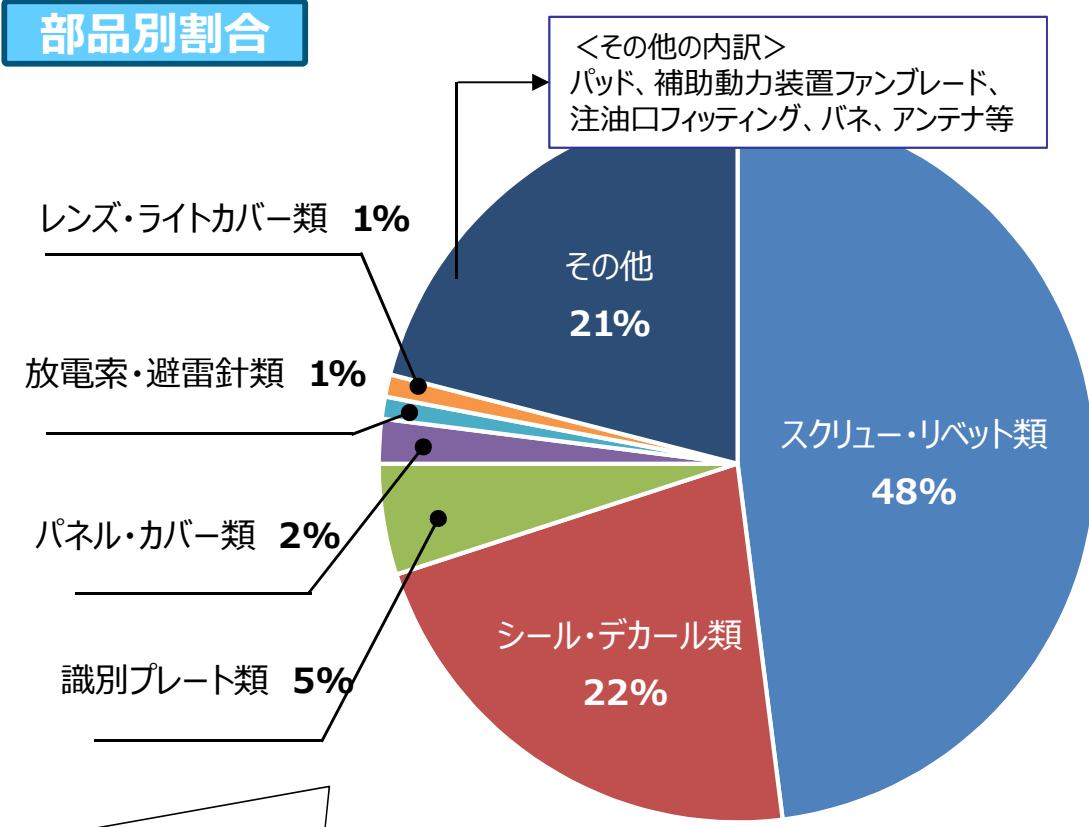
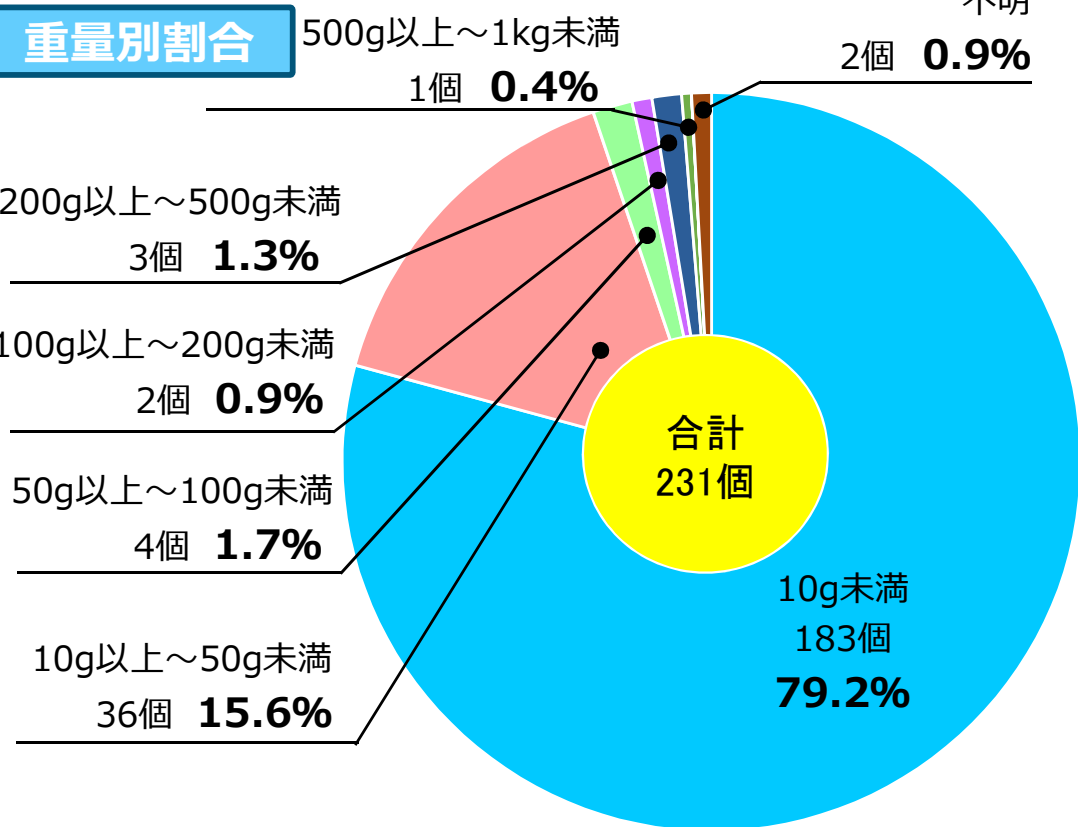




2021年4月～5月における部品欠落の重量別・部品別割合

- 部品欠落の報告制度により、羽田空港を含む7空港において2021年4月～5月に報告された欠落部品の総計は231個であり、そのほとんどは100g未満、約8割は10g未満である。
- 減便が発生していた当該期間においても、駐機中の機体を含めて徹底的な点検等が実施されている。また、欠落部品の多数を占める10g未満の部品についても、各航空会社において、落下物防止対策基準に従って、欠落事例を分析し必要な再発防止策が進められている。



部品欠落の例



リベット(留め具)



シール



スタティックディスチャージャー(放電索)

- 部品欠落報告の約5割はスクリー、リベット等の留め具であり、重さは1グラム～10グラム程度のもものがほとんど
- シール、デカル類の材質はアルミニウム、ゴム等であり、重さは1グラム～7グラム程度のもものがほとんど
- 識別プレート類の材質はアルミニウムであり、重さは1グラム～10グラム程度
- パネル類の材質は複合材、キャップ・カバー類はアルミニウム等であり、重さは2グラム～300グラム程度
- スタティックディスチャージャー(放電索)、避雷針類の材質は金属、複合材であり、重さは10グラム～20グラム程度
- レンズ、ライトカバー類の材質はガラスであり、重さは2グラム程度